

吉田税務署管内納税貯蓄組合連合会会長賞

「税に支えられて」

安芸高田市立八千代中学校三年 浅枝 美羽

私はこの夏休みにオーストラリアのメルボルンへ短期留学しました。オーストラリアはとても楽しく有意義な時間でしたが、オーストラリアの物価は日本の三倍程で物価高社会でした。

例えば、コカ・コーラのニリツトルペットボトルを買おうとした時に、日本なら二百円未満で購入できるスーパーが多いですが、オーストラリアのスーパーでは三百五十円から四百三十円が相場でした。もともと私は、日本の物価は高い方だと思っていましたが日本の物価は他の国と比べると低いのだと実感しました。日本は先進国の中でも消費税が十パーセントと少ない為、物価を安くすることが維持できているそうです。

しかし、日本は税に対して悪い印象を持っている人が多く見受けられるように思います。日本は税金を取りすぎていることや、国は税金をなんでもかんでもつけてくる、などなど。

しかし、問題はそこではなく、国民が払っている見返りを実感できていないのが問題なのではないでしょうか。税金は、「医療」「年金」「介護」「子育て」など私達が安心して生活していくための公共サービスのために使われています。

税金が一番多く使われているのは、「社会保障」です。社会保障は主に三つあります。

一つ目は「病気になった時」です。風邪を引いたり、怪我をしたときに病院で治療してもらう時に料金が発生します。そんな時に金額の七割に税金が使われます。

二つ目は「年金をもらう時」です。老後も安心して暮らしていくためにはお金が必要になります。そんな時に国からお金を受け取ることができ、その一部には税金が使われています。

三つ目は「介護が必要になった時」です。年を取って体が思うように動かなくなった時などに介護サービスのためのお金にも税金が使われています。

他にも、事件などがあった時に呼ぶ警察や、道路の整備、ごみ回収などの私たちの身近で必要不可欠なものに税金は使われています。日本は年々、税金が増えたり物価高が進んだりして不満が高まるのは分かります。そんな時に税金は私達を守る為にあるのだということを知っておけば不満もあまりたまらないと思います。この先、私達子供も税金を払う立場になります。私も今後、税金に不満がたまることがあると思います。そんな時に、今感じられる幸せは税金によって支えられているということを思い出して、私は日々生活していこうと思います。